

九州運輸局メールマガジンをご愛読くださりありがとうございます。

九州運輸局メールマガジンは隔週の木曜日にお届けいたします。

次回発行日は平成27年11月26日（木）です。

---

## ◆ 目次

### 1 現場レポート

- ・ 苅田港で対テロ訓練！～27の行政機関や民間企業などが連携確認～
- ・ 旅客航路従事者が高齢者・障害者の接遇介助方法を体験～バリアフリー教室 in 鹿児島～
- ・ 第20回全日本自動車整備技能競技大会で福岡県チームが優勝～藤壺自動車工業の谷口選手と西鉄エム・テック福岡工場の常岡選手が快挙～
- ・ 大分港開港50周年事業「みなとフェスOITA」が開催～入場者数2万9千人の大盛況！！～

### 2 お知らせ

- ・ 11月はエコドライブ推進月間です！！～地球と財布にやさしいエコドライブを始めよう～
- ・ 自動車整備業 労働環境に関するアンケート実施中～ご回答は2015年12月20日（日）まで～

### 3 九州運輸局ホームページアップ情報

- ・ 報道発表
- ・ お知らせ
- ・ 更新情報

---

## 1 現場レポート

### ◆ 苅田港で対テロ訓練！

～27の行政機関や民間企業などが連携確認～

10月29日、福岡県苅田港において、福岡運輸支局や行橋警察署、苅田海上保安署等水際危機管理の行政機関と地元企業など総勢27の関係団体、約150人の参加によるテロ対策総合訓練が実施されました。

この訓練は、官民相互の理解及び連携を深め、危機管理体制の充実を図ることを目的に毎年実施されており、今回は入港した外国船の船員になりすましたテロリストが、国内で爆発物使用のテロを計画しているとの情報を港湾危機管理担当官（行橋警察署長）が入手した想定のもと、1. 危機管理コアメンバーの現地調整本部の設置及び各機関の対応説明 2. 海上の警戒配置 3. 負傷者の救護 4. 爆発物の処理 5. テロリストの制圧 6. 消火等の訓練が、本番さながらの緊張感の中で実施されました。

来年5月には北九州市において、「G7北九州エネルギー大臣会合」の開催が予定されており、テロの水際阻止に向け今後も各関係機関との連携強化や迅速な情報共有の徹底を図っていきます。

訓練の様子は次のURLからご覧になれます。

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_319\\_1.pdf](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_319_1.pdf)

(福岡運輸支局)

---

◆旅客航路従事者が高齢者・障害者の接遇介助方法を体験

～バリアフリー教室 in 鹿児島～

九州運輸局鹿児島運輸支局では11月7日(土)、鹿児島新港旅客ターミナルにおいて、鹿児島市及び(公財)九州運輸振興センターとの共催で「バリアフリー教室 in 鹿児島」を開催しました。

今回の教室には、鹿児島県内の旅客航路従事者24名が参加し、九州運輸局交通政策部消費者行政・情報課、鹿児島県旅客船協会、マルエーフェリー株式会社、(公財)交通エコロジー・モビリティ財団、鹿児島県介護実習・普及センター及び「障害者の生活と権利を守るかごしまの会」の協力のもと、旅客船ターミナルを利用した車いす体験及び高齢者疑似体験を実施しました。

旅客船航路従事者を対象にした取組は昨年につき2回目ですが、昨年開催した際に「講義や説明だけでは、障害者の状況をうまく理解してもらえない」との意見があったことから、今回初めての試みとして障害当事者を交えたディスカッション型式の座学講義を行いました。ディスカッションでは、障害当事者から趣味や日常生活を送るうえで困っている事などを話していただき、参加者との相互理解を深めました。講義の最後には、「健常者もそうであるように、障害者も一人一人個性があり、また、こだわりを持った同じ人間です」「介助方法がわからない時は、障害者本人に聞いてください」などの話もあり、参加者も熱心に聞き入っていました。

講義に引き続き行った実技では、車いす体験において基本的な介助の仕方・操作方法を学習し、介助する側、される側の感覚を実体験することで、今後の介助における注意点を再確認しました。一方、高齢者疑似体験では、参加者全員が80歳を想定した体験用セットを装着し、階段や旅客ターミナル内を移動し、乗船時の動線を体験しました。視界も狭く、手足も動かしづらく、腰も曲がった姿勢での体験は思った以上に大変で、高齢者の苦労や不便さを身をもって感じていました。

参加者からは、「貴重なお話を聞けて、今日の体験を今後の業務に役立てたい。」などの感想が寄せられました。

今後とも九州運輸局では、小学生をはじめ、交通事業者等様々な立場の方々を対象としたバリアフリー教室を開催し、「心のバリアフリー」の推進に努めてまいります。

教室の様子は、下記URLからご覧頂けます。

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_319\\_2.pdf](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_319_2.pdf)

(鹿児島運輸支局)

---

◆第20回全日本自動車整備技能競技大会で福岡県チームが優勝

～藤壺自動車工業の谷口選手と西鉄エム・テック福岡工場の常岡選手が快挙～

日本自動車整備振興会連合会主催による「第20回全日本自動車整備技能競技大会」が、東京ビッグサイトにおいて10月10日に開催され、福岡県自動車整備振興会チーム(谷口修平選手:有限会社藤壺自動車工業、常岡兼次選手:西鉄エム・テック

株式会社福岡工場)が、福岡県チームとしては第11回大会以来、3度目の優勝を勝ち取る快挙を成し遂げました。

この競技大会は、自動車整備業界における整備技術の向上を目的として隔年毎に開催されており、国土交通省も後援しています。今回の大会においても全国の整備振興会から53チームが参加して、技術力や対応力を競いました。

競技は、点検整備作業と故障探求の正確性を競う「実車競技」、測定作業の正確性を問う「基礎競技」、お客様への的確な対応が求められる「アドバイザー競技」の3形態による1000点満点からの減点方式により争われるもので、福岡県自動車整備振興会チームの二人は昨年も参加しましたが、残念ながら入賞を果たすことができず、今回は再チャレンジの大会でした。

970点という高得点で優勝した二人は、11月5日に竹田九州運輸局長へ優勝報告に訪れ、「前回の大会で入賞することができず、予選から再度臨みました。練習でやったことのある作業もあったので、落ち着いて競技を行うことができました。力を発揮でき、前回のリベンジができて良かったです。」と優勝の喜びを語ってくれました。優勝の報告を受けた竹田局長からは選手二人にねぎらいの言葉がかけられ、福岡県自動車整備振興会関係者にも次回大会での福岡県チームの連覇の激励がありました。九州から優勝チームが出たことは、九州の自動車点検整備の高い技術水準の証でもあり、整備業界皆さんの励みにもなる本当に嬉しい結果となりました。

大会の様と九州運輸局長への優勝報告の様は、次のURLからご覧ください。

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_319\\_3.pdf](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_319_3.pdf)

(自動車技術安全部 整備課)

---

#### ◆大分港開港50周年事業「みなとフェスOITA」が開催

～入場者数2万9千人の大盛況！！～

大分港は昭和40年に関税法に基づく開港に指定され、今年で開港50周年となりました。

これまでの50年間に於いて全国有数の重要港湾へ発展するとともに、今後も物流機能の向上を図り、アジアのゲートウェイとして、大分港の更なる発展のに向けた契機とすることを目的に「大分港開港50周年記念事業」が実施され、この記念事業のメインイベントである「みなとフェスOITA」が、10月31日から11月1日にかけて大分市大在公共埠頭において開催されました。

当日は、独立行政法人航海訓練所の練習船である帆船「海王丸」や海上保安庁巡視船「やまくに」、津久見高校海洋科学学校の漁業実習船「新大分丸」の一般公開、海事関係官署及び大分港関係企業等のPRコーナー、防災・防衛フェア、飲食・物販コーナーの出店等多彩な催し物が実施され、大分運輸支局としましても「ボート免許相談コーナー」や「旅客船のぬりえコーナー」の設置、海事産業に関するパネル展示などPRブースを出展したところです。

当支局のPRブースには、予想以上に多くのお客様に足を運んで頂き、特にぬりえコーナーには、多くの子供たちが途絶えることなく訪れ、中にはお父さん、お母さんの奮闘のもと、個性豊かなぬりえの完成です。子供たちがぬりえを完成させる間には、お父さん、お母さんに運輸産業に関する理解を深めてもらうため、海事広報DVDの

視聴や、パネル、パンフレットを案内するとともに、クルマの点検整備等のリーフレットを配付するなど運輸支局の施策のPRに積極的に取り組みました。

準備したぬりえ220枚やPR用パンフレットは開催二日目に補充するほどの盛況ぶりで、この二日間の会場入場者数は約2万9千人の大盛況でイベントを終えました。

大分運輸支局では、今後とも機会を捉えて、運輸産業のPRに積極的に努めてまいります。

「みなとフェスOITA」の様子は次のURLからどうぞ。

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_319\\_4.pdf](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_319_4.pdf)

(大分運輸支局)

---

## 2 お知らせ

◆11月はエコドライブ推進月間です！！

～地球と財布にやさしいエコドライブを始めよう～

警察庁、経済産業省、国土交通省及び環境省で構成するエコドライブ普及連絡会では、エコドライブの普及・推進を目的に、行楽シーズンであり自動車の乗る機会が多くなる毎年11月を「エコドライブ推進月間」として、全国各地でシンポジウムやイベント等を開催するとともに、普及に向けた積極的な広報を行うこととしております。推進月間の詳細については、下記のURLをご覧ください。

[http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo10\\_hh\\_000115.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo10_hh_000115.html)

また、普及連絡会ではエコドライブとして推奨すべき「エコドライブ10のすすめ」を策定しております。皆様も小さな意識を習慣にすることで、あなたの運転が変わり、社会が変わりますので、はじめてみましょう、エコドライブ。

「エコドライブ10のすすめ」

1. ふんわりアクセル「eスタート」
2. 車間距離にゆとりをもって、加速・減速の少ない運転
3. 減速時は早めにアクセルを離そう
4. エアコンの使用は適切に
5. ムダなアイドリングはやめよう
6. 渋滞を避け、余裕をもって出発しよう
7. タイヤの空気圧から始める点検・整備
8. 不要な荷物はおろそう
9. 走行の妨げとなる駐車はやめよう
10. 自分の燃費を把握しよう

エコドライブについて、更に知りたい方はエコドライブ普及促進協議会のウェブサイトをご覧ください。

<http://www.ecodrive.jp/>

(交通政策部 環境・物流課)

---

◆自動車整備業 労働環境に関するアンケート実施中

～ご回答は2015年12月20日(日)まで～

国土交通省では、自動車整備業界の労働環境の向上や人材確保・育成のため、自動車整備事業場の経営に関わる皆様、整備関係従業員の皆様へのアンケートを次

により実施しています。

【実施期間】平成27年10月29日(木)～平成27年12月20日(日)

【調査内容】現在の労働環境の状況や労働環境に関する意見についての調査

【実施方法】対象者が直接インターネットアンケート(web)を介して回答する。  
アンケートWEB ページ (<https://rsch.jp/a5926039aca828e2/login.php>)

【調査委託業者】株式会社日本能率協会総合研究所

「自動車整備業の労働環境に関するアンケート調査」事務局

担当：久保田、小林

電話番号：0120-753-399

[受付時間：10時～17時(土・日・祝祭日を除く)]

詳しくは下記のURLからどうぞ。

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/osirase\\_319\\_1.pdf](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/osirase_319_1.pdf)  
(自動車技術安全部 整備課)

---

### 3 九州運輸局ホームページアップ情報

--- 報道発表 ---

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/#HOUDOU>

--- お知らせ ---

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/#OSIRASE>

--- 更新情報 ---

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/#KOUSIN>

//////// 編集部より //

いつも九州運輸局メールマガジンをご覧いただき誠にありがとうございます。  
編集部では、運輸と観光に関する取組や話題、イベントの案内、地域の情報等、本メールマガジンへの掲載記事を広く募集しています。お気軽にご投稿ください。

//

---

■本メールマガジンのバックナンバー閲覧はこちらから

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/backnumber-top.htm](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/backnumber-top.htm)

■本メールマガジンの配信中止やメールアドレスの変更などはこちらから

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/kouhou\\_mail.html](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/kouhou_mail.html)

■九州運輸局メールマガジン編集部(九州運輸局総務部内)

mail: [qst-mm-kyushu@ml.mlit.go.jp](mailto:qst-mm-kyushu@ml.mlit.go.jp)

Tel : 092-472-2312 Fax : 092-471-7192

---